

総務常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和7年6月27日（金） 第2委員会室
2. 出 席 委 員 五島誠委員長 松本みのり副委員長 谷口隆明 横路政之 堀井慎一郎 桜田亮太
3. 欠 席 委 員 なし
4. 事務局職員 植木佳那子議会事務局主事
5. 説 明 員 なし
6. 傍 聴 者 1名（うち議員1名）
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - 2 その他

午前9時59分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより総務常任委員会を開会します。ただいまの出席委員は6名であります。よって直ちに本日の会議を開きます。本日の会議におきまして、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しております。

1 所管事務調査について

○五島誠委員長 それでは早速協議事項に入りたいと思います。所管事務調査についてということで、前回、委員会の中で少し議論いただきましたけれども、今日改めてこの間の一般質問等の様々な議論も経まして、この総務常任委員会で閉会中に所管事務調査をどのようにやっていくかについて御議論いただきたいと思っております。なお、前回の委員会では、契約事務について、それから財政についてという形で御意見をいただいております。どういう項目の挙げ方にするかということも含めて、もう少しフォーカスを絞った形でやったほうがいいのか、あるいはもっと広くして様々な調査ができるようにすればいいのかとか、様々御意見あろうかなと思いますのでよろしくお願いします。では、所管事務調査について御提案がある方は挙手の上、発言をお願いします。谷口委員。

○谷口隆明委員 財政問題、どのように絞るかというのはあるのですが、前回12月に報告したときから財政推計とかいろいろ変わってきている面もあるので、これは引き続きやったほうがいいのか。それから昨日も議論がありましたが、市職員の働き方改革についても、いろいろ新しい取り組みをされていますので、その進行状況とかも含めて継続してやったほうがいいのかという気がしました。

○五島誠委員長 他にありますか。横路委員、前回の委員会で契約についておっしゃったのは、入れるということでよろしいですか。横路委員。

○横路政之委員 入札について、私が所属していない期間でもあったかと思うのですがけれども、いろいろ相談も受けているので実際どうなっているのかなと。総合評価等もかなり前に決まってから、そのままずっと同じスタンスでいっているのか、中身を変えているのかということを知りたいと思って

います。

○五島誠委員長 そのほかございますか。よろしいですか。それでは、財政、働き方改革、それからどういう書き方がいいかは別にして、入札制度あるいは契約制度の事務についてというところで御意見をいただいております。これについては、議論の過程でフォーカスをしていくものがそれぞれあるのかと思いますけれども、項目の挙げ方としては、分かりやすい形で少し広めにスタンスをとっていただければいいかなと感じております。皆さんそれでよろしいですか。ではこの項目の書き方については委員長、副委員長に御一任いただきまして、最終的には30日のところで簡易採決ですけれども議決をいただくということになりますので、よろしくお願いします。この三つの件を挙げますけれども、次回の委員会日については既に7月11日に決定をいただいておりますので、そのときに今後の委員会のスケジュール、どういった形で調査を進めていくのかといったことについて、あるいは行政視察等について、検討を始めていきたいと思っております。7月11日は、皆様に腹案といいますか、そうしたものを持ちながら、出席をいただければ助かりますのでよろしくお願いします。所管事務調査について何か皆さんから御意見はございますか。副委員長。

○松本みのり副委員長 所管事務調査項目の立て方については委員長、副委員長に御一任をと言っていたのですが、財政プランについて、まだざっくりし過ぎているので皆さんからもっとこういったところに焦点を絞って考えていきたいという御意見があれば、こちらでお伺いできたらと思います。

○五島誠委員長 副委員長からそうした提案がございましたけれども、どうでしょうか。財政について様々ありますけれども、フォーカスするところについて何か腹案ありますか。副委員長。

○松本みのり副委員長 私は先ほど谷口委員にも言っていたように、財政計画が令和5年度と令和6年でものすごく推計が変わっています。財政調整基金、市の貯金部分が令和5年度は46億円を超えていたのが、5億円ずつ毎年減り続けて、令和6年度の財政計画でいくと令和14年にはゼロになる推計になっているというところが一番気になっているので、そこをどう立て直していくのかというのを市と一緒に考えていけたらと思っております。その中で、未利用財産の処分と活用の後押しが、ピンポイントでいうとそこに一番力を入れられないかなという思いでおります。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 財政運営についての大ぐくりでいいのではないですか。そうしないとピンポイントで挙げていたら他のものができなくなる。いろいろやる中で出てくるのではないですか。それも取り上げられるから、そのほうがいいと思います。

○五島誠委員長 そのほか皆さんから、谷口委員。

○谷口隆明委員 前回の総務常任委員会で、特に合併後の19年、18年間、財政の推移と今後の見通しみたいなことをやっているんで、今言われたように財政全体の動きを大ぐくりによりながら、いろんな問題点についてやっていけばいいと思います。私はこれまでの総務常任委員会の提言の続きというか、変化がいろいろ出てきて、あのときの提言とは変わってきているので、それをもとに財政をやったほうがいいのかなと思います。

○五島誠委員長 分かりました。ですので、当初の予定どおり少しスタンスを広めにとって項目を挙げて、副委員長がおっしゃるように焦点を当てるところについては、また7月11日の委員会でスケジュールを立てる中で、まずは財政のどこを見ていくかというところを検討したいと思います。先ほどあ

りましたように、この財政について、それから働き方改革、職員の働き方についての部分は、先の総務常任委員会の中でも挙げられています。moreNOTEに、そのときの委員長報告がございますので、できましたら7月11日までのところで、今までの議論の流れといいますか、経過については押さえていただければと思います。よろしくお願いします。横路委員。

○横路政之委員　働き方改革について、大ぐくりの中でも採用枠などにも突っ込んでいけるのか。地元枠をつけるとか。それならそれでいいと思います。

○五島誠委員長　書き方を少し検討させてください。堀井委員。

○堀井慎一郎委員　横路委員からもあったのですけれども、いわゆる勤務労働条件というくくりの中でいけば、採用、人員を確保していくというところは突っ込んでいけるのかなと思います。前回、昨年の総務常任委員会で特定事業主行動計画について報告をされていると思いますけれども、その中で何点か要望という形のものも出されておりましたので、その後どういう検討をされているのかということ等についても。あと行動計画の関係ではないのですけれども、市には労働安全衛生委員会という組織もありますので、その辺りもどういう動きをしておられるのか、どういう課題を持っているのかというお話を聞ければいいのかなと思います。

○五島誠委員長　分かりました。今、皆さんからいただいた御意見をうまくミックスして、まとめをしておきたいと思います。でき次第moreNOTEの、恐らく最終日の本会議の資料の中に諸般報告書がまた新たに追加されるので、あれに記載するようになろうかと思います。そちらを御確認ください。では、この所管事務調査については閉じさせていただきます。

2 その他

○五島誠委員長　続いて2番、その他の項ということで、前回の委員会で堀井委員から意見書を提案いただき、全会一致でこの委員会から提案をしようということになりました。その後、事務的な手続等も含めてメール等で意見書の訂正等があったらということがございまして、既にもう文書等については確定し、議会運営委員会へかけるようお願いをしたところです。その議論の中で1点、マイナンバーカード移行に伴うシステムのところでランニングコストが上がるのはなぜかという疑問点があったかなと思います。その点について堀井委員に少し調査をしていただきましたので、皆様にそちらをまずはお知らせいただければと思います。堀井委員、よろしくお願いします。

○堀井慎一郎委員　意見書の中で、前回の委員会の際に御質問いただいたのが、そういった削減効果を求めて移行していくと自治体業務システムの標準化・共通化の部分でコストが上がるという部分の文言です。それを調べたところ、システム改修等に係るイニシャルコストについては国から支援があるようです。そのあとのランニングコストの部分については、今のところ国から補助金とか、そういう形のものでの支援は出てきていないということで、ガバメントクラウドというもの、国が用意をするサーバーに各自治体に乗っていく。そこの使用料でありますとか、通信費というものがかなり高額になってくるということでした。庄原市についても企画課にお伺いしたのですけれども、やはり3倍程度に費用が上がることは現在見込んでいるということでしたので、意見書の中での文言については裏づけのある文言であるということを確認しました。

○五島誠委員長 もし皆さんからもう少し聞いてみたいということがありましたら、分かる範囲で議論
しますけれども、よろしいですか。副委員長。

○松本みのり副委員長 基準になるところは、何を基準にして3倍ということでしょうか。

○五島誠委員長 堀井委員。

○堀井慎一郎委員 庄原市でいきますと今は日立と言われたと思うのですが、庄原市としてサー
バーを用意して、そこでデータの管理をしているのです。それを、先ほど申しあげましたガバメント
クラウドに乗り換えていく。そことの通信線も専用線を引いてくれということになっているようです
ので、現在、庄原市としてサーバー環境を管理するに当たってかかっている経費と比べた際に、3倍
程度になるということです。

○五島誠委員長 大丈夫ですか。皆さんよろしいですか。桜田委員。

○桜田亮太委員 もっと中長期的な視野で見てコストを下げていくと。どうしても初期でかかる費用が
それだけあるということなので、それは理解しました。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 意見書はランニングコストが上がるから、そこを国でどうにかしろとなっていたのか。

○五島誠委員長 意見書の確認をしますけれども、8番に自治体業務システムの標準化・共通化に向け
ては移行に係る経費はもとより、移行の影響を受けるシステムの改修経費や、ここからです、大幅な
増額が見込まれるシステム運用経費まで含め、必要な財源を補填することを求めています。改修経
費等、イニシャルのところについては先ほどあったように国からの手だてがあると。しかしながら、
運用経費、いわゆるランニングコストについてはそれがないと。サーバーが変わるとサーバー使用料
が、うちで今使っているものでいえば約3倍に跳ね上がるということでしたので、御承知いただけれ
ばと思います。よろしくお願いします。そうした中で、皆さんにお決めいただいたこの意見書です
けれども、送付先について最後に確認をしていきたいと思います。moreNOTEに意見書送付先
リストという資料があるかと思いますが、そちらを御確認ください。丸印がついているところへ昨
年は送付をしたわけですが、ここから追加、削除、どうしていくのかというところで、皆さん
からの御意見をいただいております。いかがですか。少し時間をとります。暫時休憩い
たします。

午前10時17分 休 憩

午前10時19分 再 開

○五島誠委員長 それでは、休憩前に引き続いて会議を再開します。休憩間に意見書送付先リストにつ
いては、皆さんに御確認いただきました。これについて追加、あるいは削除といった差し引きがござ
いましたら、御意見をいただきたいと思います。意見なしということで、それではこの送付先リスト
に掲載のところへ、可決いただいた場合には送らせていただきますので、御承知おきください。その
ほか、皆様から言っておきたいことがございましたら伺います。よろしいですか。それでは次回
の委員会の確認です。先ほども申しあげましたが、7月11日金曜日午前10時から開催しますので御
参集をよろしくお願いします。それでは、以上で総務常任委員会を閉会します。お疲れさまでした。

午前10時20分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

総務常任委員会

委 員 長